

テーマ E 「MICE・文化観光振興を支えるバックヤード拠点」 検討シート

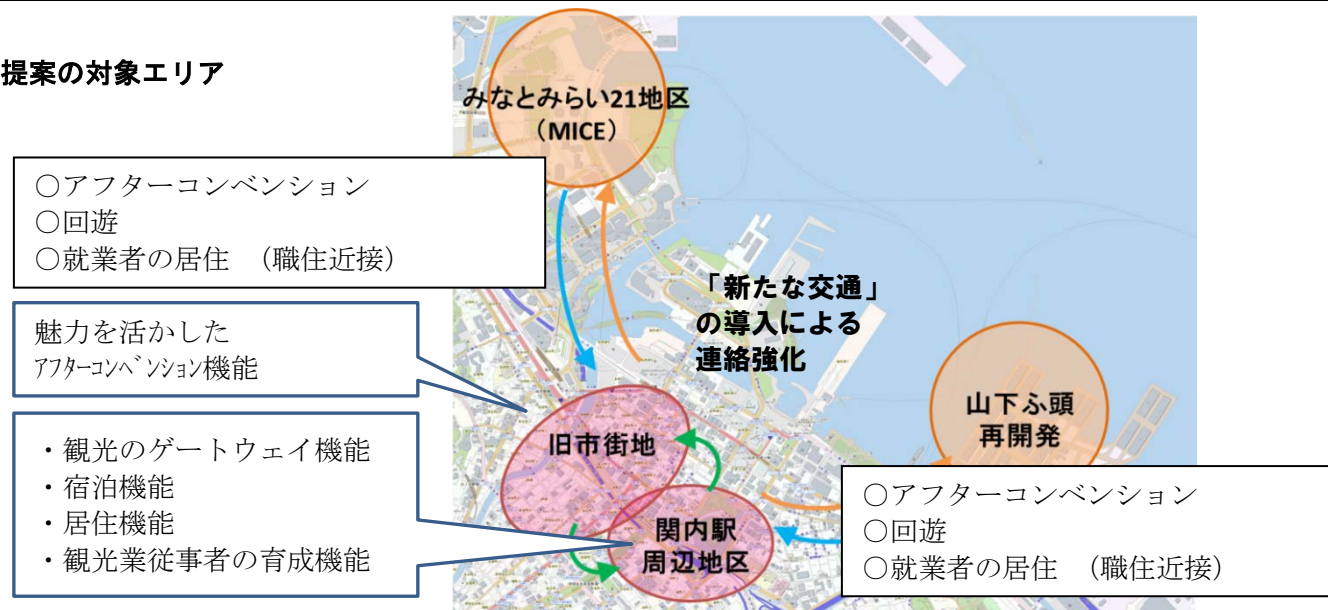
- ・横浜都心臨海部の観光分野における関内・関外地区の役割を果たし「みなとみらいMICE」や「山下ふ頭再開発」に集まる多数の人々を「関内駅前」に引き込む。
- ・横浜の観光・MICE のコンテンツや来街者のバリエーションを広げる。
- ・横浜都心部の観光・MICE 等の業務に従事する人材のスキルや対応力を強化する。

MICE… Meeting、Incentive tour、Convention、Exhibition の略

■必要な機能について

機能	機能の概要	利用者のイメージ	場所	運営主体	周辺への波及効果やまちの価値向上への貢献	
1 人を惹きつける アフターコンベンション機能	<ul style="list-style-type: none"> ・みなとみらいや山下ふ頭再開発にはない、関内関外の「ダウンタウン」としての魅力を活かし都心臨海部の「観光」の幅を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みなとみらい MICE、山下ふ頭再開発を主目的地とする観光客 	<ul style="list-style-type: none"> ・野毛、イセザキモールなどの旧市街地 	<ul style="list-style-type: none"> ・野毛、イセザキモールなどの商業者団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・みなとみらい MICE や山下ふ頭再開発と一体となった街の価値向上を図ることができる。 ・アフターコンベンション、観光ツーリズムによる集客向上 	
2 観光の ゲートウェイ 機能	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、MICE の宿泊客が東京に流出している。 ・MICE、山下ふ頭再開発による宿泊需要の増加に対応。現状ベッド数では増加する需要に対し十分な容量がなく、ホテルのタイプ、グレードも多様な滞在目的に対応できない。 ・富裕層、シニア層、若年層などの、様々な観光需要に合わせ、滞在施設の多様化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・富裕層、アクティブシニア層の長期滞在ニーズ ⇒セカンドハウス、コンドホテル、サービスアパートメント等 ・MICE 展示関係者、イベント主催者の中期滞在ニーズ ⇒サービスアパートメント、コンパクトホテル等 ・スポーツ、興業イベントのファン、国際イベント観光客 ⇒サービスアパートメント、コンパクトホテル、リノベーションホテル、ドミトリー等 	<ul style="list-style-type: none"> ・みなとみらい MICE や山下ふ頭再開発とは異なる宿泊を求める観光客 	<ul style="list-style-type: none"> ・現市庁舎街区 ・港町民間街区 ・旧市街地 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル運営者 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問者の多様な宿泊ニーズを受け止め、宿泊客の東京流出を抑制。関内が周辺各エリアへの送客の基点となり、都心臨海部全体の経済活性化を誘引する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・関内駅前が新たな回遊の拠点となる。 ・宿泊、観光情報に加え、対面でのおもてなしなど「わざわざ来る場所」をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語対応、対面方式の情報拠点 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜都心部への観光来訪者 ・訪日外国人観光客 	<ul style="list-style-type: none"> ・現市庁舎街区 ・港町民間街区 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光コンベンションビューロー ・旅行代理店や観光施設運営者など ・芸術文化活動団体・組織や支援組織 	<ul style="list-style-type: none"> ・関内駅周辺地区が観光ゲートウェイの核となる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・都心部全体で「新たな交通」の導入検討が始まっており、駅前を拠点とし歩行者・自転車含め各地区間の回遊を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道、バス、タクシー等の交通機能再編と、LRT やシェア自転車、パーソナルモビリティなど「新たな交通拠点」整備、歩行者・自転車動線の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜都心部への観光来訪者 	<ul style="list-style-type: none"> ・現市庁舎街区 ・港町民間街区 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者 ・旅行代理店や観光施設運営者など 	<ul style="list-style-type: none"> ・人を回遊させる交通の導入により、効率的・快適な都心臨海部の移動が可能となる。起終点を関内駅に設けることで、交通による集客ポイントができる。
3 職住近接を支える 居住機能	<ul style="list-style-type: none"> ・山下ふ頭再開発などに伴って、大幅な増加が考えられる就業者の居住ニーズに対応する。 ・大規模集客施設の就業者の勤務形態に合わせ、山下ふ頭近傍エリアにおける住宅の供給が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人スタッフ向け賃貸住宅・シェアハウス ・日本人スタッフ向け分譲個室（永住タイプ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・山下ふ頭再開発就業者 	<ul style="list-style-type: none"> ・港町民間街区 ・旧市街地 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・デベロッパー 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・居住機能の導入による昼夜間のにぎわいの平準化・居住増加と共に、遊休不動産の活用、更新が進み、更にエリアへの投資、再整備を誘引する。
4 観光業従事者の 育成・対応力強化 観光業従事者子弟 の教育施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル等の専門的な観光業従事者の人材育成やまち全体としての外国語対応などのおもてなしの強化が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光業従事者の養成機関（大学観光学科等）の立地 ・まちの外国語対応者などの学習の場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・みなとみらい MICE や山下ふ頭再開発、関内地区の観光業に係る従事者 	<ul style="list-style-type: none"> ・現市庁舎街区 ・港町民間街区 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学・専門学校・インターナショナルスクール・企業・NPO 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・みなとみらい MICE や山下ふ頭の下支えとなる。 ・観光業従事者が安心できる居住環境を創出する。

■提案の対象エリア



■波及効果（各機能の波及効果をふまえた、取り組み全体としての波及効果）

- ・都心臨海部の周辺エリアの整備に合わせた、関内駅周辺地区への集客の誘引
- ・都心部におけるまちの役割の明確化と集客力の向上により、関内駅周辺地区への新たな投資、再開発の呼び込む
- ・新たな就業者の暮らしを下支えする居住環境の充実による遊休不動産の活用・更新が進む

■他のチームの検討内容とのつながり

- A：大学の観光学科
- B：観光関連産業の誘致
- C：自転車・歩行者の移動しやすいまちの形成、観光目的地としての商業（飲食・小売店舗）強化
- D：大人の学びの場の創出
- E：観光・回遊に対応したまちづくり